

研究テーマ 神経疾患における新しい自己抗体測定法の樹立

所属 脳神経内科

准教授 中根 俊成

<https://researchmap.jp/7000016974>

研究分野	脳神経内科（神経免疫疾患）
キーワード	自己抗体

研究室URL : <https://www.hosp.u-toyama.ac.jp/shinnai/>

<2020年以降の議論の焦点>

- ✓4つの測定技術で「同じ抗体」を測っているか？
- ✓どのグループが他の自律神経系関連受容体への抗体測定を可能とするか？
- ✓Long COVIDや慢性疲労症候群の病態解明、社会実装に繋がられるか？

ねらい①

正確かつ高感度の測定系・診断薬の開発

- *実績ある研究パートナーとのチーム構成
- *新規技術開発：FC + CBA
- *精確 + 高感度：新規技術 + 機能アッセイ

← 今回の研究支援

2012
日本
LIPS

ねらい②

多種類の自律神経系関連受容体への抗体測定系樹立

- * 新規測定系・診断薬の原理応用
- * 日本初の他の自律神経系関連受容体（ムスカリン性アセチルコリン受容体、アドレナリン受容体など）に対する自己抗体の測定系樹立

ねらい③

COVID-19後遺症、慢性疲労症候群の病態解明と社会実装

- * 自律神経障害を呈するこれら2疾患で自律神経系関連受容体に対する自己抗体は出現しているか→病態解明
- * 抗体測定と病態解明から治療法の検討へ→社会実装

- ✓世界をリードする測定系・診断薬の開発
- ✓測定系開発から始まる治療法検討と社会貢献